

平成21年度モニタリング調査計画

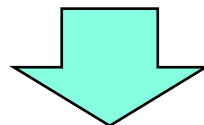
志津見ダムモニタリング計画

【1】モニタリング調査計画の見直しについて

P.1)

第1回モニタリング委員会時（平成20年10月30日）

調査の目的		調査項目		モニタリング計画
水環境	定期調査	鉄、ヒ素、マンガン		調査計画なし
自然環境	環境保全への取り組みの効果の検証	オオサンショウウオの保全		調査計画なし
		重要な植物の保全		ヤシャゼンマイ、ナガミノツルキケマン、メグスリノキ
	不確実性のある項目の変化の把握	典型性(陸域)調査	昆虫類	調査時期:初夏季
		典型性(河川域)調査	昆虫類	調査時期:初夏季
			底生動物	調査時期:冬季～早春季、初夏季
		横断測量		調査計画なし



第3回モニタリング委員会時（平成21年7月30日）

調査の目的		調査項目		モニタリング計画
水環境	定期調査	鉄、ヒ素、マンガン		3層調査
自然環境	環境保全への取り組みの効果の検証	オオサンショウウオの保全		新規追加
		重要な植物の保全		ヤシャゼンマイ、ナガミノツルキケマン、メグスリノキ、サイカチ、ヤマザトタンポポ、エビネ属の一種
	不確実性のある項目の変化の把握	典型性(陸域)調査	昆虫類	調査時期:夏季
		典型性(河川域)調査	昆虫類	調査時期:夏季
			底生動物	調査時期:冬季～早春季、夏季
		横断測量		新規追加

【1】モニタリング調査計画の見直しについて

P.2)

【1】-1 定期調査

調査項目

分類	番号	地点名	調査項目							
			流量	一般項目	生活項目	富栄養項目	植物プランクトン	健康項目	底質	鉄・ヒ素・マンガン
流入河川	100	八神	○	○	○	○	—	—	—	—
	101	角井	—	○	○	○	—	—	—	—
貯水池内	200	ダムサイト	—	○	○	○	○	△2	△1	△2
	202	貯水池中央部	—	○	○	○	—	—	—	—
下流河川	300	ダム放水口	○	○	○	○	—	—	—	△2
	301	野土橋	—	○	○	—	—	—	—	—
	302	上乙立橋	—	○	○	—	—	—	—	—
	303	馬木	○	○	○	—	—	—	—	—

調査項目 一般項目 : 水温, 濁度

生活項目 : pH, BOD, COD, DO, SS, 大腸菌群数, 全窒素, 全燐, 全亜鉛

富栄養項目 NH₄-N, NO₃-N, NO₂-N, PO₄-P, クロロフィル a

植物プランクトン: 植物プランクトン(個体数), フェオフィチン

健康項目 : カドミウム, シアンなど

調査頻度 ○: 月1回, △: 月1回未満(添字: 年回数)

月1回未満は、健康: 夏季・冬季, その他: 四季, 底質: 夏季を基本として必要に応じて増減

調査深度 貯水池内: 一般項目, 生活項目, 富栄養項目(クロロフィル a 除), 鉄・ヒ素・マンガンは3層(水深0.5m, 1/2水深, 底上1.0m)

クロロフィル a, 植物プランクトン, 健康項目は1層(水深0.5m)

流入河川, 下流河川: 2割水深

【1】モニタリング調査計画の見直しについて

P.3)

【1】-2 オオサンショウウオに関わる調査

環境保全措置概要

オオサンショウウオの確認状況	・平成8年度のオオサンショウウオを対象とした調査で、オオサンショウウオは確認されなかった。 ・平成13年4月25日に頓原町の角井地区残土処理工事工区内において、体長約109cmのオオサンショウウオが発見（保護）された。 ・その後、学識者の指導のもとに調査を実施したが、オオサンショウウオは確認できなかった。
保全の必要性	・神戸川の支川は、オオサンショウウオの棲める好適環境が少ないものの、角井川でオオサンショウウオが確認されたことから、河道付替により直接改変された角井川において、オオサンショウウオが生活できるように河川を整備する必要がある。
保全の観点	・角井川において、移動の連続性の確保や隠れ場所の創出等オオサンショウウオが生息しやすい環境整備を行った。 ・湛水後に本種が他の支川で見つかった場合も、学識者や関係機関の意見も踏まえ、適切な対応を図っていく。

【1】モニタリング調査計画の見直しについて

P.4)

【1】-2 オオサンショウウオに関わる調査

オオサンショウウオの調査実施状況

調査年度	現地調査手法	調査対象河川
平成8年度	夜間踏査 釣りだし調査	神戸川、角井川、保井川、獅子谷、弓谷川
平成13年度	夜間踏査 釣りだし調査 産卵殻の確認調査	角井川、下滝谷川、獅子谷川、伊比谷川、三田川、恩谷川
平成14年度	幼生の確認調査	角井川、下滝谷川、獅子谷川、伊比谷川、三田川、恩谷川
平成15年度	夜間踏査 目視調査(日中) 釣りだし調査	神戸川(ダム堤体周辺)、 仮排水路工事箇所周辺
平成16年度	夜間踏査 潜水目視調査 釣りだし調査	神戸川(ダム堤体周辺)、 仮排水路工事箇所周辺
平成18年度	夜間踏査 トラップ調査	神戸川、角井川、成川

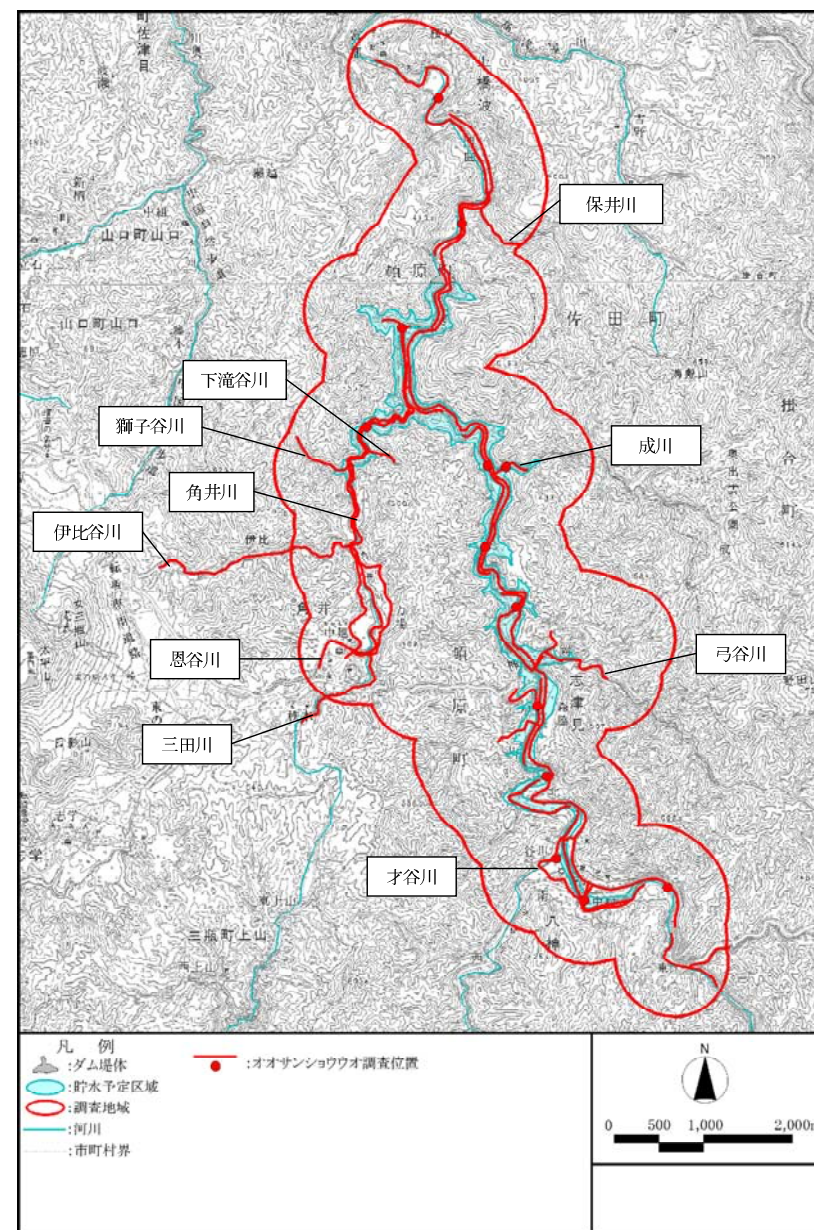


図 オオサンショウウオ調査位置

【1】モニタリング調査計画の見直しについて

P.5)

【1】-2 オオサンショウウオに関わる調査

オオサンショウウオ調査計画

調査概要

調査の観点	オオサンショウウオに対して環境保全措置を実施した角井川の環境整備箇所での環境整備後の生息状況及び生息環境の状況を把握することを目的とした。
調査方法	目撃・捕獲調査 現地調査は、夜間の現地踏査における目撃法とカゴワナを用いた捕獲法により実施する。 生息環境調査 環境保全措置実施箇所について踏査を行い、オオサンショウウオの隠れ家となる横穴の有無等を確認する。また、同時に周辺の環境条件(河岸植生の有無等)を確認する。
調査場所	角井川：オオサンショウウオに配慮した落差工や護岸等の設置箇所周辺 弓谷川：平成13年に角井地区において確認された個体を放流した箇所
調査時期	目撃・捕獲法、生息環境調査 ：平成21年8月下旬～9月上旬（繁殖期）

評価の視点

環境整備箇所の生息環境が維持されていること及びオオサンショウウオの生息状況を確認すること

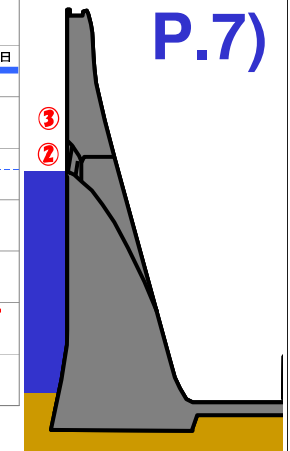
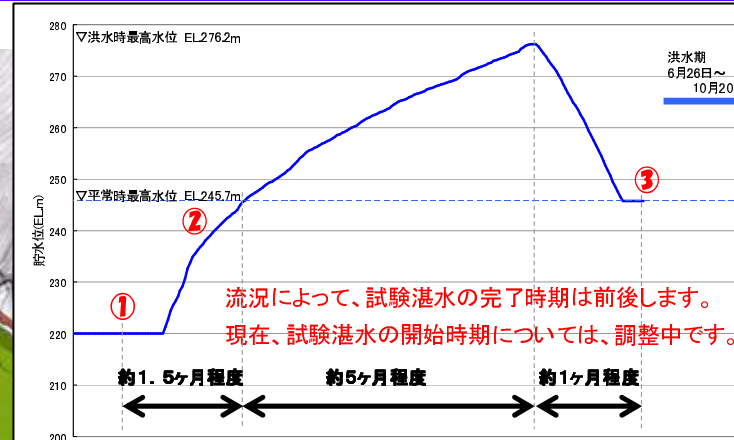
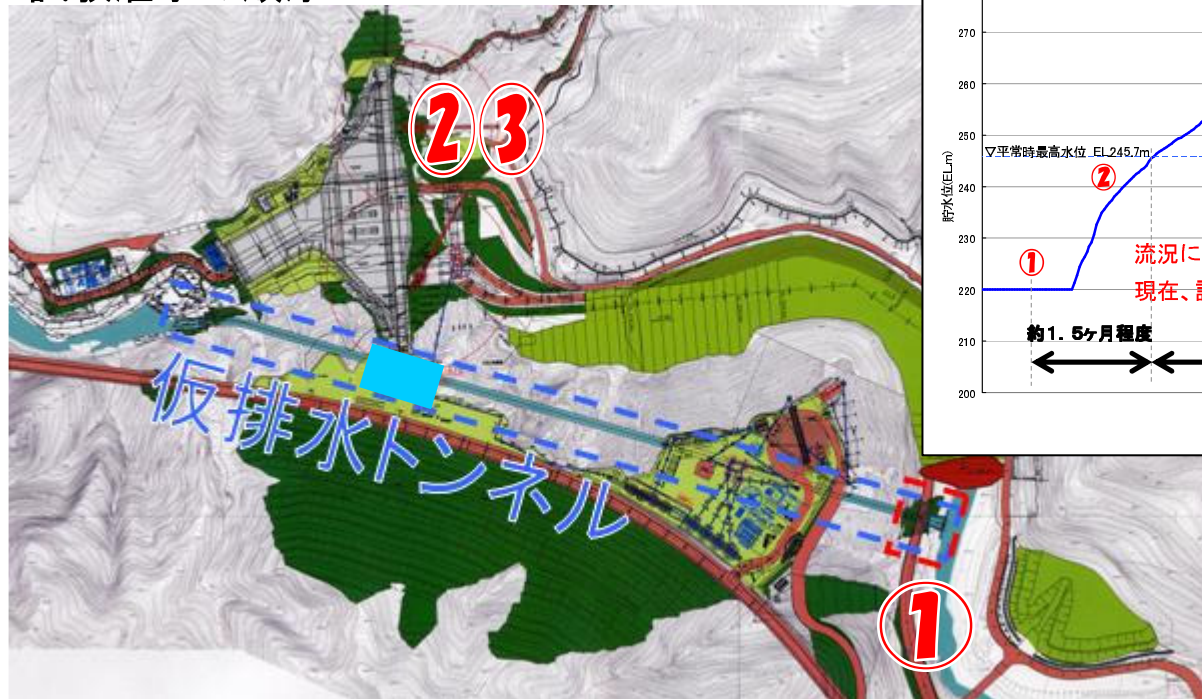
【2】モニタリング調査計画

P.6)

[illegible]

志津見ダム試験湛水について

試験湛水の順序



▽洪水時最高水位

▽平常時最高水位

